

# nikko am

## ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし 〈愛称 ABコンパス〉

追加型投信／内外／債券

### 交付運用報告書

第11期(決算日2014年12月22日)

第12期(決算日2015年1月22日)

第13期(決算日2015年2月23日)

第14期(決算日2015年3月23日)

第15期(決算日2015年4月22日)

第16期(決算日2015年5月22日)

作成対象期間(2014年11月26日～2015年5月22日)

#### 第16期末(2015年5月22日)

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 11,287円 |
| 純資産総額 | 48百万円   |

#### 第11期～第16期

|            |      |
|------------|------|
| 騰落率        | 1.2% |
| 分配金(税込み)合計 | 210円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし」は、2015年5月22日に第16期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界の債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

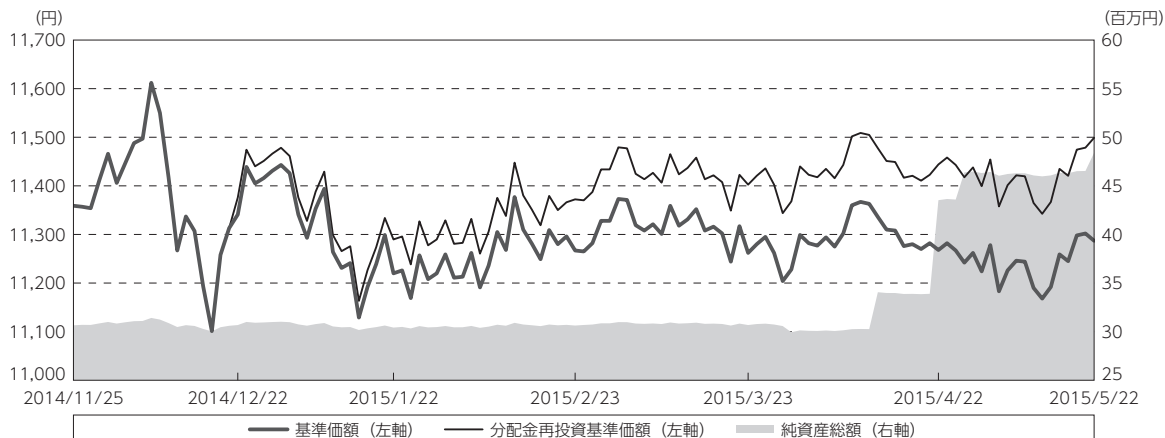
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2014年11月26日～2015年5月22日)



第11期首：11,359円

第16期末：11,287円 (既払分配金(税込み)：210円)

騰落率：1.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2014年11月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の推移

第11期首11,359円の基準価額は、第16期末に11,287円(分配後)となり、分配金を加味した騰落率は+1.2%となりました。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

### <値上がり要因>

- ・円安/アメリカドル高が進行したこと。
- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・ユーロ圏を中心とした先進国の国債の価格が上昇(利回りは低下)したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・円高/ユーロ安が進行したこと。
- ・エネルギー・セクターなどの社債の価格が下落(利回りは上昇)したこと。
- ・ブラジル、ベネズエラなどの新興国債券の価格が下落したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2014年11月26日~2015年5月22日)

| 項 目                     | 第11期~第16期 |         | 項 目 の 概 要                                 |
|-------------------------|-----------|---------|---|
|                         | 金 額       | 比 率     |   |
| (a) 信 託 報 酬             | 58        | 0.508   | (a) 信託報酬=作成期間の平均基準価額×信託報酬率                |
| ( 投 信 会 社 )             | (16)      | (0.143) | 委託した資金の運用の対価                              |
| ( 販 売 会 社 )             | (40)      | (0.352) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| ( 受 託 会 社 )             | ( 2)      | (0.013) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                   |
| (b) そ の 他 費 用           | 5         | 0.049   | (b) その他費用=作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数         |
| ( 監 査 費 用 )             | ( 0)      | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用               |
| ( 印 刷 費 用 )             | ( 5)      | (0.046) | 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用                      |
| 合 計                     | 63        | 0.557   |   |
| 作成期間の平均基準価額は、11,327円です。 |           |         |   |

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年5月24日～2015年5月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2014年1月31日です。

|                   | 2014年1月31日<br>設定日 | 2014年5月22日<br>決算日 | 2015年5月22日<br>決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 10,000            | 10,197            | 11,287            |
| 期間分配金合計(税込み) (円)  | —                 | 105               | 420               |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | 3.0               | 15.0              |
| 純資産総額 (百万円)       | 1                 | 27                | 48                |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年5月22日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**投資環境**

(2014年11月26日～2015年5月22日)

**(債券市況)**

先進国の国債市場では、米国国債は、2015年初めにかけて原油価格の急落やギリシャの政局不安などを受けて価格は上昇基調で推移しましたが、2月下旬にかけては米国連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ時期が早まるとの観測が高まり価格は下落しました。その後、FRBが利上げを急がない姿勢を示したことで再び価格は上昇しましたが、当作成期末にかけては世界的な金利上昇を受けて価格は下落しました。ドイツ国債は、2015年4月下旬にかけて、欧州中央銀行（ECB）による追加金融緩和実施への期待、その後の量的金融緩和実施の決定を受けて価格の上昇が継続しましたが、当作成期末にかけて需給懸念が台頭し価格は急落しました。日本国債は、2015年1月下旬にかけては日本銀行による国債購入を背景に価格は上昇しましたが、その後当作成期末にかけては国債入札の不調を受けた需給悪化の懸念などから価格は下落しました。

ハイイールド社債は、2014年末にかけて原油価格の急落を受け下落しました。2015年2月下旬にかけては、原油価格の落ち着きと堅調な米国経済指標などを背景に上昇し、その後当作成期末にかけてもおおむね堅調に推移しました。

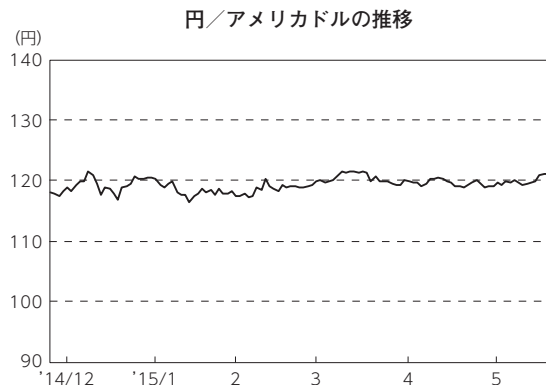
新興国債券では、2014年末にかけて原油価格の急落を受けベネズエラなどの産油国を中心に下落しました。その後は原油価格低下の恩恵を受ける資源消費国は堅調に推移し、当作成期末にかけては、原油価格の落ち着きと共にベネズエラなどの産油国も買い戻され上昇しました。しかし、外貨準備高の現状が懸念されるウクライナは下落が続きました。

**(国内短期金利市況)**

期間中、無担保コール翌日物金利は安定的に0.09%を下回る水準で推移しました。国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.02%台から、2015年1月上旬には、日銀がT Bの買入れ額を減少したことなどを背景に0.02%まで上昇しました。その後は、日銀がT Bの買入れ額を増加したことなどを背景に再びマイナス金利に低下するなど、もみ合いで推移し、0.00%近辺で期間末を迎えました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、下記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(2014年11月26日～2015年5月22日)

### (当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

### (適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン(為替ヘッジなし))

先進国の国債については、イギリス国債やオーストラリア国債などを一部売却しました。また、ユーロ圏の国債については、スペイン国債などを買増して、慎重ながらも組入比率を若干引き上げました。先進国の投資適格社債などについては、おおむね期間の初めの組入比率を維持しました。ハイイールド社債については、金融セクターや通信セクターなどの銘柄を一部売却しました。新興国債券については、構造改革の進むブラジル国債やメキシコ国債など買増しました。なお、ロシア国債やウクライナ国債は組み入れませんでした。

### (マネー・アカウント・マザーファンド)

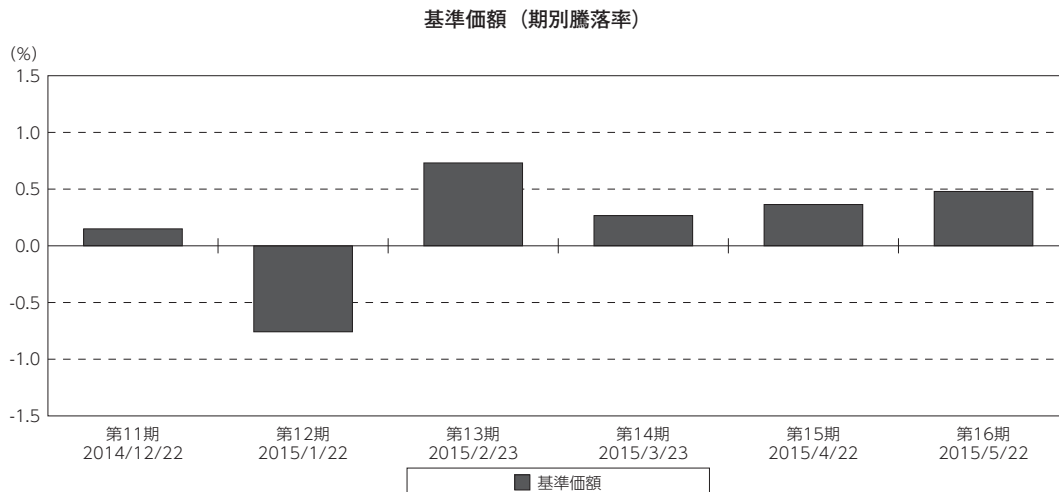
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年11月26日～2015年5月22日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

以下のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

## 分配金

(2014年11月26日～2015年5月22日)

第11期～第16期における分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項目        | 第11期                        | 第12期                       | 第13期                      | 第14期                      | 第15期                      | 第16期                      |
|-----------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
|           | 2014年11月26日～<br>2014年12月22日 | 2014年12月23日～<br>2015年1月22日 | 2015年1月23日～<br>2015年2月23日 | 2015年2月24日～<br>2015年3月23日 | 2015年3月24日～<br>2015年4月22日 | 2015年4月23日～<br>2015年5月22日 |
| 当期分配金     | 35                          | 35                         | 35                        | 35                        | 35                        | 35                        |
| (対基準価額比率) | 0.308%                      | 0.311%                     | 0.310%                    | 0.310%                    | 0.310%                    | 0.309%                    |
| 当期の収益     | 35                          | 35                         | 34                        | 30                        | 26                        | 35                        |
| 当期の収益以外   | —                           | —                          | 0                         | 4                         | 8                         | —                         |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,341                       | 1,324                      | 1,323                     | 1,319                     | 1,322                     | 1,328                     |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン (為替ヘッジなし)」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

### (適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン (為替ヘッジなし))

世界の経済成長は、地域によってばらつきがあるものの、先進諸国の経済は底堅く、緩やかに加速するとみています。

先進国の国債のうち、米国については、FRBは堅調な経済成長と、雇用環境の改善を踏まえて、年内に政策金利を正常に戻す過程に入るとみています。ECBは景気刺激とデフレ回避に向けた金融緩和を継続するとみています。日本については当面は現在の金融政策を継続するとみています。

ハイイールド社債については、引き続き強靱なバランスシートや潤沢な余裕資金、比較的低金利で借り換えできる環境などが支援材料になるとみていますが、セクターや地域により差が生じているため、引き続き魅力的な企業を厳選し、十分に分散されたポートフォリオを維持する方針です。

新興国債券については、局所的に地政学的リスクが大きい状態が続いているものの、新興国のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は全般には良好であると考えており、引き続き各国の相対価値分析とファンダメンタル分析に基づいた慎重な国別選択に注力する方針です。

円/アメリカドル相場については、当面は現状のレンジでの推移になるとみていますが、米国の利上げ開始が想定されることから、年末までに日米金利差を背景に緩やかに円安/アメリカドル高方向へ推移するとみています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### (マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

2014年11月26日から2015年5月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

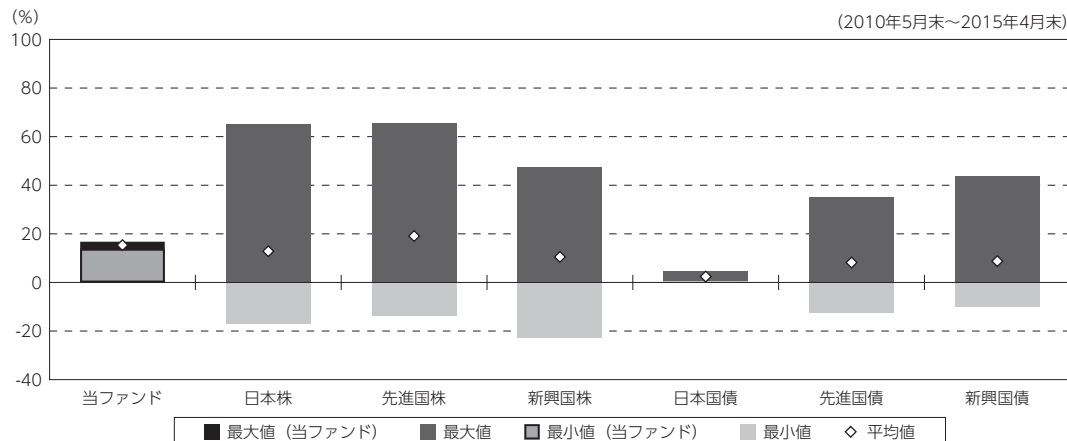
当ファンドについて、2013年6月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月1日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月1日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。(第40条、第45条、第46条、第49条の2)

## 当ファンドの概要

|        |   |
|--------|---|
| 商品分類   | 追加型投信／内外／債券   |
| 信託期間   | 2014年1月31日から2028年11月22日までです。  |
| 運用方針   | 主として、世界の債券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。                         |
| 主要投資対象 | 「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）」受益証券<br>「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券<br>上記の投資信託証券を主要投資対象とします。  |
| 運用方法   | 主として、世界の債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。先進国の投資適格債への投資により、中長期的に安定した収益を確保するとともに、高い利回りの獲得が期待されるハイイールド社債や新興国債券にも投資することで、収益の向上を図ります。原則として為替ヘッジは行ないません。 |
| 分配方針   | 第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。   |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

|     | 当ファンド | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債 | 先進国債   | 新興国債   |
|-----|-------|--------|--------|--------|------|--------|--------|
| 最大値 | 16.8  | 65.0   | 65.7   | 47.4   | 4.5  | 34.9   | 43.7   |
| 最小値 | 13.8  | △ 17.0 | △ 13.6 | △ 22.8 | 0.4  | △ 12.7 | △ 10.1 |
| 平均値 | 15.3  | 12.8   | 19.1   | 10.5   | 2.4  | 8.2    | 8.8    |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年5月から2015年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2015年1月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA- ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2015年5月22日現在)

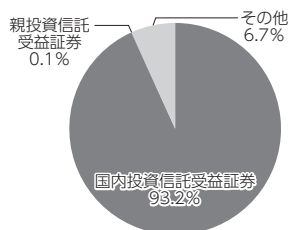
#### ○組入上位ファンド

| 銘柄名   | 第16期末 |
|---|-------|
|   | %     |
| 適格機関投資家私募 アライアンス・バンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン(為替ヘッジなし) | 93.2  |
| マネー・アカウント・マザーファンド                                 | 0.1   |
| 組入銘柄数   | 2銘柄   |

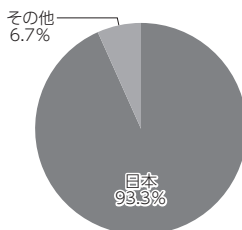
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

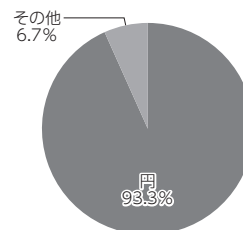
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

### 純資産等

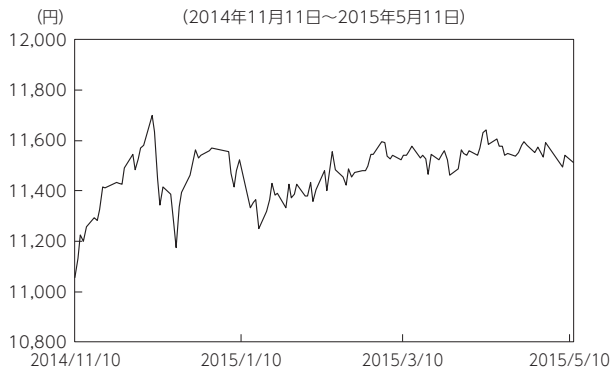
| 項目         | 第11期末       | 第12期末       | 第13期末       | 第14期末       | 第15期末       | 第16期末       |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|            | 2014年12月22日 | 2015年1月22日  | 2015年2月23日  | 2015年3月23日  | 2015年4月22日  | 2015年5月22日  |
| 純資産総額      | 30,677,792円 | 30,417,060円 | 30,627,676円 | 30,679,229円 | 43,525,556円 | 48,404,455円 |
| 受益権総口数     | 27,050,162口 | 27,108,737口 | 27,183,213口 | 27,240,491口 | 38,628,352口 | 42,883,768口 |
| 1万口当たり基準価額 | 11,341円     | 11,220円     | 11,267円     | 11,262円     | 11,268円     | 11,287円     |

(注) 当作成期間(第11期~第16期)中における追加設定元本額は16,653,693円、同解約元本額は753,821円です。

## 組入上位ファンドの概要

### 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・マルチセクター・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万円当たりの費用明細】

(2014年11月11日～2015年5月11日)

| 項 目           | 作成期間(第11期～第16期) |         |
|---------------|-----------------|---------|
|               | 金 額             | 比 率     |
| (a) 信 託 報 酬   | 27              | 0.234   |
| ( 投 信 会 社 )   | (25)            | (0.215) |
| ( 販 売 会 社 )   | ( 0)            | (0.003) |
| ( 受 託 会 社 )   | ( 2)            | (0.016) |
| (b) そ の 他 費 用 | 6               | 0.054   |
| ( 保 管 費 用 )   | ( 1)            | (0.005) |
| ( 監 査 費 用 )   | ( 6)            | (0.049) |
| ( そ の 他 )     | ( 0)            | (0.001) |
| 合 計           | 33              | 0.288   |

作成期間中の平均基準価額は11,355円です。

(注) 作成期間中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万円当たりのそれぞれの費用金額を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

#### 【組入上位ファンド】

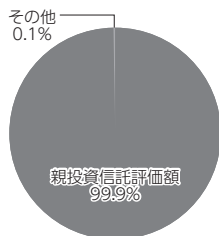
(2015年5月11日現在)

| 銘 柄 名                                | 比率    |
|--------------------------------------|-------|
| アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド | 99.9% |
| 組入銘柄数                                | 1銘柄   |

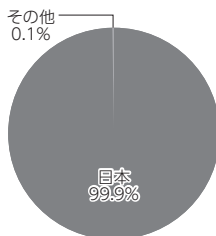
(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

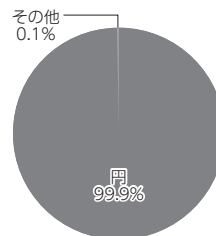
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】

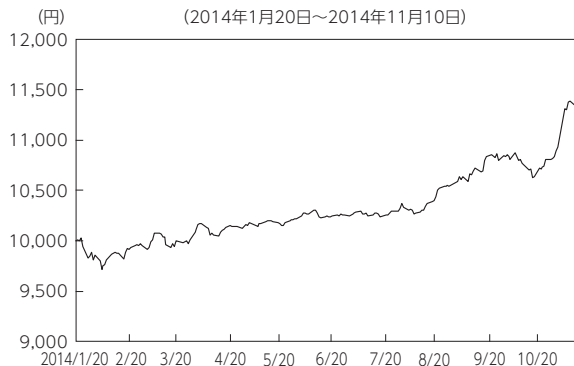


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

—— <ご参考> アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド ——

【基準価額の推移】



※ 2014年1月20日の基準価額は、当初設定時の価格です。

【1万口当たりの費用明細】

(2014年1月20日～2014年11月10日)

| 項 目                          | 当 期      |
|------------------------------|----------|
| (a) 有 価 証 券 取 引 税<br>( 株 式 ) | 0<br>(0) |
| (b) そ の 他 費 用                | 1        |
| 合 計                          | 1        |

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 有価証券取引税、(b) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

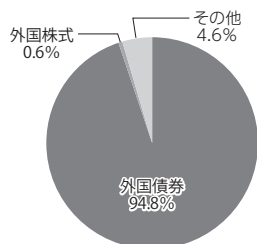
(2014年11月10日現在)

|    | 銘 柄 名                    | 業 種 等 | 通 貨   | 国 ( 地 域 ) | 比 率 |
|----|--------------------------|-------|-------|-----------|-----|
|    |                          |       |       |           | %   |
| 1  | UK TREASURY              | 国債    | GBP   | イギリス      | 5.9 |
| 2  | US TREASURY              | 国債    | USD   | アメリカ      | 3.9 |
| 3  | US TREASURY              | 国債    | USD   | アメリカ      | 2.9 |
| 4  | BUONI POLIENNALI DEL TES | 国債    | EUR   | イタリア      | 1.9 |
| 5  | US TREASURY              | 国債    | USD   | アメリカ      | 1.9 |
| 6  | REPUBLIC OF PERU         | 国債    | USD   | ペルー       | 1.7 |
| 7  | US TREASURY              | 国債    | USD   | アメリカ      | 1.6 |
| 8  | UK TREASURY              | 国債    | GBP   | イギリス      | 1.5 |
| 9  | REPUBLIC OF BRAZIL       | 国債    | BRL   | ブラジル      | 1.4 |
| 10 | NETHERLANDS GOVERNMENT   | 国債    | EUR   | オランダ      | 1.3 |
|    | 組入銘柄数                    |       | 336銘柄 |           |     |

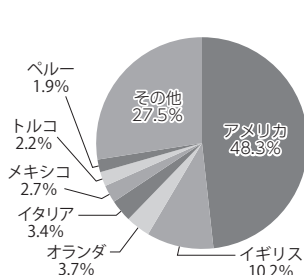
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

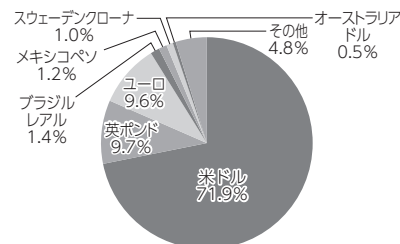
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

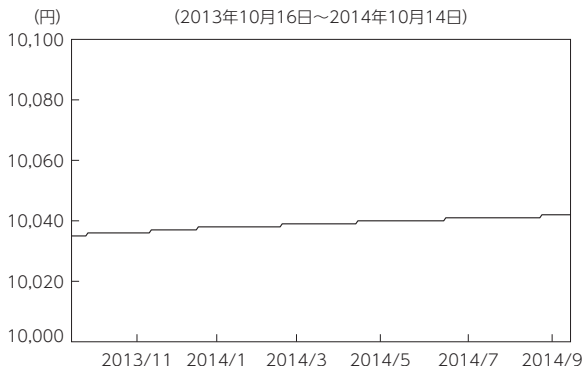


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2013年10月16日～2014年10月14日)  
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2014年10月14日現在)

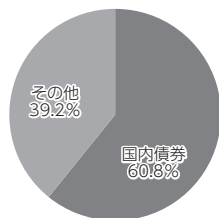
|       | 銘柄名         | 業種 / 種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率    |
|-------|-------------|----------|----|-------|-------|
| 1     | 第479回国庫短期証券 | 国債証券     | 円  | 日本    | 31.1% |
| 2     | 第481回国庫短期証券 | 国債証券     | 円  | 日本    | 29.7% |
| 3     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 4     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 5     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 6     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 7     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 8     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 9     | —           | —        | —  | —     | —     |
| 10    | —           | —        | —  | —     | —     |
| 組入銘柄数 |             | 2銘柄      |    |       |       |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

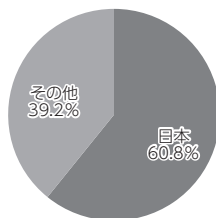
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

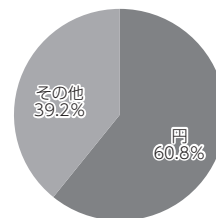
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA- ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

当指数は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。